

エイブリック

グローバルに拡大する市場に、
日本固有のものづくりの強さと
「匠」の技術で挑む！

8本槍製品との相合による
シナジーを創出し、
アナログ半導体売上高1,000億円の
早期達成を目指す

エイブリック（株）
代表取締役社長 兼 CEO
石合 信正



経営統合の背景

エイブリックは、アナログ半導体の「超小型、省電力、使いやすさ」をキーワードに、民生用エレクトロニクスのほか自動車、医療、産業向けに強みを持っています。組織は団結力、スピード、活気にあふれ、たゆまぬチャレンジで業界最先端のイノベーションを追求する開発ドリブンの会社でもあります。

このたびミネベアミツミと経営統合したことにより、販売、生産、技術開発すべての分野において強力なシナジーが期待されます。エイブリックが持つさまざまな産業との豊富な取引実績や知見を、グループ全体の製品開発を含めた「相合」や最終顧客向けの提案に活用することにより、アナログ半導体事業の売上高1,000億円の達成に向けて事業機会の拡大に努めてまいります。



会社紹介はこちらから
ご覧いただけます。

社名の由来



日本社名：エイブリック株式会社
英文社名：ABLIC Inc.
中文社名：艾普凌科有限公司

2018年1月5日に新社名のエイブリックが誕生しました。

エイブリック＝ABLICは、ABLE（～ができる）とIC（IntegratedCircuit）を組み合わせた造語で、半導体技術で不可能を可能にするという意味を込めています。全従業員の投票で決定しました。

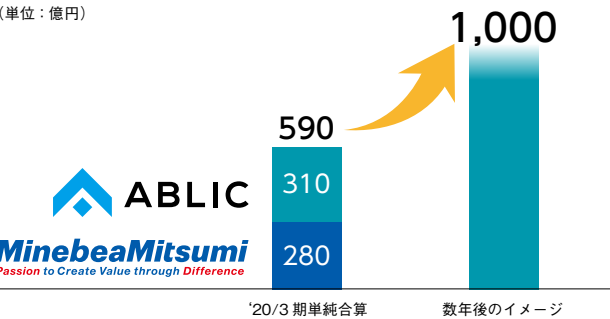
ロゴマークは、成長を表す上向きの矢印とICを表す◆を組み合わせ、社名の頭文字「A」を表現するとともに、半導体で社会の成長を目指すという企業姿勢を表しています。

経営統合の効果

- 販売
生産
- 主力製品の強化とグローバルに顧客基盤の拡大
 - 高い技術とコスト競争力を兼ね備え、安定供給可能な生産体制の構築
 - 盤石なBCP対応力の確立
- 技術開発
- 総合電子部品とアナログ半導体の技術シナジーによる新製品開発力の強化

アナログ半導体 売上高の成長イメージ

（単位：億円）



沿革

- 1881年 服部時計店創業
- 1937年 株式会社第二精工舎設立（現セイコーインスツル株式会社）
- 1968年 CMOS ICの研究開発を開始
- 1979年 アナログクォーツ用IC製造開始
- 2015年 SII半導体事業部分社化
エスアイアイ・セミコンダクタ株式会社設立
- 2016年 エスアイアイ・セミコンダクタ株式会社営業開始
- 2018年 エイブリック株式会社に社名変更
- 2020年 ミネベアミツミグループへ経営統合

エイブリック ハイライト

売上高 約300億円	営業利益率 10%以上	DNA 真摯なものづくりと 品質へのこだわり	社会課題を解決する ソリューション CLEAN-Boost [®] (クリーンブースト)
---------------	----------------	------------------------------	--

強み(アピールポイント)

<コア・コンピタンス>

- S M A L L（超小型）
- S M A R T（省電力）
- S I M P L E（使いやすさ）

<グローバル顧客への確実なサポート>

- グローバルワンチーム（団結力・スピード）
- 垂直統合（開発・製造・販売の三位一体）

<SDGsへの取り組み>

- 捨てられていたエネルギーを活用する
CLEAN-Boost[®]（クリーンブースト）技術

<品質へのこだわり>

- 大手自動車関連取引先から10年連続表彰
(品質優良仕入先)

高水準の
営業利益率と
競争力

プロダクトポートフォリオ

ミツミ半導体の5本槍（注力開発分野）にエイブリックの3本槍を新たに追加

1 リチウム保護 Smart Phone TWS xEV ESS Power Tool	2 車載電源 ECU 機能安全 カメラモジュール電源 TCU 電源
3 垂直統合 Fan Motor Stepping Motor 高感度ひずみゲージ MINEGE [®]	6 医療・高圧 超音波診断装置 ソナー魚群探知機 非破壊検査 ソレノイドバルブ
4 MEMS センサ・カスタム スマートファクトリー スマート家電 医療	7 磁気センサ Fan Motor BLDC Motor Encoder 回転数角度検知 電池長持ち機器 (例 TWS) 電流センサー
5 IGBT xEV 再生エネルギー Inverter	8 CLEAN-Boost [®] (クリーンブースト) ピークル製品(センサー) 電源コア オープンイノベーション

1と2はミツミとエイブリックが重複して注力していた分野ですが、3～5はミツミ、6～8はエイブリックが独自に注力していた分野になります。これらが相互に補完、相合することにより、シナジーを創出して力強く成長してまいります。

社会課題を解決するソリューション創出

CLEAN-Boost[®]（クリーンブースト）技術

これまで電力として活用できなかった微小なエネルギーを蓄電・昇圧し、無線発信などを可能にするエイブリック独自のエナジーハーベスト等に最適な技術です。

主となる蓄電昇圧回路技術は、立命館大学との共同研究によって生まれたものです。



<実例>「バッテリーレス漏水センサ」～インフラビジネスとの相合

漏れた水で自己発電を行い、無線により漏水信号を送信する CLEAN-Boost[®]（クリーンブースト）応用製品。大成建設（株）との共同開発により生まれた製品です。

電源を一切必要としないため、大掛かりな工事や電池交換の手間もありません。メンテナンスの手が届かなかったような場所にも、簡便に後付けで設置可能です。本センサの設置により、初期段階で水漏れを検知することができ、トラブル発生や被害が拡大する前に対応することが可能となります。コストと時間の両面で大幅な省力化を実現でき、環境負荷軽減にも大きく貢献します。



「バッテリーレス漏水センサ」を配管に設置したイメージ

2019年、IEEE^{*}において、Best Paper Award 受賞 ～ CLEAN-Boost[®]（クリーンブースト）技術による半永久的な電源確保の可能性が世界で高く評価～
* IEEE（アイ・トリプル・イー）：アメリカに本部を置き、人類社会の有益な技術情報に貢献する世界最大の専門職団体